

【公表】 事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|--------------|----|--------|----------------|
| ○事業所名 | こどもプラス井野教室 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 | 2月 | 1日 | ～ 2026年 2月 27日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 17 | (回答者数) | 9 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 | 2月 | 1日 | ～ 2026年 2月 27日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) | 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 20日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや 意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 利用者数に対して、職員数が充実しており、個々に応じた対応ができる。 | 利用者様一人ひとりのその日の状態に合わせて活動内容の幅を見極め、一人ひとりに合わせた活動の提案を行っている。 | 社内や教室内での研修の実施。それらを通して職員のスキルアップを図り、より適切な支援に繋げていく。 |
| 2 | 保護者に対しての説明事項や、療育に対するのすり合わせ等もおおむね適切に取り組んでいる状況である。 | 利用者本人だけでなく、保護者の状況や支援の必要性を考えながら関わりを深めていけるようにしている。 | 定期的な面談の実施や保護者同士の意見交換の場なども設けていく必要がある。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている 課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等 |
|---|--|---------------------------------------|---|
| 1 | 運動療育の提供を行う場所が狭い。 | 教室内がいくつか分割されている構造のため、一つの大きな空間の確保が難しい。 | 限られた空間の中で、提供できる内容の種類を増やし、療育の内容を充実させていく。 |
| 2 | | | |

| | | | |
|---|--|--|--|
| 3 | | | |
|---|--|--|--|